

強い生産管理の原理原則 ～BOM/BOPの考え方と作り方～

WEB受講のみ

LIVE配信
アーカイブ配信
(7日間視聴可能)

★日時：2025年9月5日（金）10:00～16:30

★会場：WEB受講のみ（Zoomシステム）

※LIVE配信／アーカイブ配信（7日間視聴可能）

★受講料：1名 49,500円（消費税込）

同一セミナー同一企業同時複数人数申込みの場合 1名44,000円

★受講資料：製本テキスト（受講料に含む）

※別途テキストの送付先1件につき、配送料1,210円（内税）

なぜ欠品はなくなるのか？なぜ在庫は減らないのか？」その原因は、生産管理の根幹であるBOM（部品表）とBOP（工程表）の設計思想にあります。本セミナーでは、BOM/BOPの本質的な意味と構築方法を体系的に解説します。
現場改善に直結するロジックと思考法を、豊富な事例とともに伝授します！！

【講師の言葉】

製造企業は、製品を作って、売ることによってこの利益を得ています。このとき、会社では、生産性を高めることによって製品コストの低減を図り、顧客への品切れをなくタイムリーに製品を提供する、それらの活動の中で、過剰な在庫を保有しないことが求められます。

近年のデジタル情報技術の進展は、ITシステム・ベンダーが中心になって、レガシーシステムから新しい生産管理システムの導入へと提案しています。その一方、生産活動の現場も、NCやMC化などの技術進展によって、設備機械の性能向上が見込めるようになってきています。ただ、この生産管理システムと生産活動が、有機的につながらないと成果を得ることができません。これが、生産管理の役割です。生産管理は、製品を作るうえで、自社の保有する設備機械や作業方法などの資源を用いて、品質を確保でき、納期通りに、最小のコストで作る方法を決めることです。このアウトプットが、BOM/BOPであり、生産管理の中核になります。

本セミナーでは、生産管理実務のあるべき姿、原理原則を紹介し、中核となるBOM/BOPに必要な考え方やロジックなどを解説します。そのうえで効率よく、効果的な「生産管理」のあり方を考えます。

【受講形式】WEB受講のみ、アーカイブ配信（7日間視聴可能）

【予備知識】必要ありません。

【受講対象】生産活動及び生産管理業務に携わる方、生産技術に携わる方、製品の開発設計に携わる方、これらの管理監督者の方 など

【習得知識】 1）生産管理システムの実務 2）原理原則
3）BOM/BOPを作成の考え方・ロジック 4）生産管理の在り方 など

【講師】日本コストプランニング株式会社 代表取締役 間館 正義 先生 経営士、生産士一級

1. 生産管理は会社の基幹システムである

- 1) 経営管理と生産管理の狙い
- 2) 経営管理と生産管理を数値で見る
- 3) 生産管理と基礎になるBOM/BOP
- 4) システムには投資効果（ROI）による評価も必要だ

2. 生産はMRP方式と製番方式に大別できる

- 1) MRP生産方式とは
- 2) 製番生産方式とは
- 3) MRP生産方式と製番生産方式の考え方の根本的な違い

3. 生産管理に必要なBOM/BOPの機能・要件とは

- 1) まず生産の用語と意味を正しく理解すること
- 2) BOM/BOPを正しく定義する
一意味と機能のズレが問題を生む一
- 3) M-BOM（製造部品表）は生産活動の中核である
一目的別BOMに惑わされない！一

4. 現場で役に立つ生産管理システムのためのBOM/BOP

- 1) M-BOM（製造部品表）を作ってみよう（事例）
- 2) なぜ、欲しいときに部品がないのか？
一BOM/BOPと所要量計算、作業スケジュールのロジック一
- 3) BOP（工程表）を使って、作業スケジュールを作ってみよう（事例）
- 4) なぜ、作業スケジュール通りに生産できないのか？
一BOP（工程表）と所要時間、作業時間のとらえ方一
- 5) 生産計画に変更が生じたら何を！頻繁な変更は？

5. 現場で役に立つ生産管理システムのためには何が必要か

- 1) 生産計画の期間をどのように決めるのか
一生産計画、BOP（工程表）、リードタイムのとらえ方一
- 2) 生産管理システムに必要な情報の精度とは
- 3) BOPとワークセンター（作業区）の整合性について
- 4) 利益管理とBOM/BOP

質疑・応答

◆セミナーお申込要領

- ・弊社ホームページの申込欄又は、E-mailかFAXにてお申し込みください。
- ・受付後、受講票・請求書等をメールで送信します。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。
- ・受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。

◆申込書：2025年9月5日 強い生産管理の原理原則

会社名： 部署名：

住所：

TEL：

FAX：

氏名：

Email：

◆申込先



TH企画セミナーセンター



株式会社TH企画

〒108-0014 東京都港区芝4丁目5-11 芝プラザビル5F

TEL：03-6435-1138

FAX：03-6435-3685

Email：th@thplan.com

URL：<https://www.thplan.com/>

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

検索

TH企画



サイト内
キーワード検索

0905
(開催日)